

第 25 回「環境放射能」研究会プログラム

会場：高エネルギー加速器研究機構・小林ホール

2024 年 3 月 11 日(月)

開会 (13:30 - 13:45)

開会挨拶 (日本放射化学会・五十嵐康人会長)

概要・注意事項説明 (事務局)

セッション1 (13:45 - 14:35) 座長: 富田 純平

O-1 帰還困難区域の河川における放射性セシウム

福島県環境創造セ 福田 美保

O-2 福島県相双地域の河川における ^{137}Cs 濃度の季節変動をもたらす環境因子

国立環境研 辻 英樹

(14:45頃:1分間) 東日本大震災の被災者の皆様に対し黙とう

セッション2 (14:55 - 15:40) 座長: 木下 哲一

O-3 帰還困難区域の森林小河川に生息する溪流魚における2015年から2023年までの
 Cs-137 濃度の推移

茨城大GLEC 中里 亮治

O-4 帰還困難区域の山地溪流に生息するユスリカ科幼虫の放射性セシウム濃度について

茨城大GLEC 神 龍聖

依頼講演 (15:55 - 16:50) 座長: 別所 光太郎

(依頼講演) 緊急被ばく医療におけるバイオアッセイ研究と今後の展望

量研機構 楊 国勝

ポスターセッション - 1 (17:00 - 18:10)

・奇数番ポスターコアタイム

2024年3月12日(火)

セッション3 (9:00 - 10:15) 座長: 安田 健一郎

- O-5 放射線災害後の環境に生息する野生動物の酸化ストレス影響検出法の改良
東北大災害研 鈴木 正敏
- O-6 福島第一原発事故に被災した野生ニホンザルの血漿と肝臓における酸化ストレス状態の解析
東北大災害研 佐藤 拓
- O-7 狩猟動物への Cs-137 の面移行係数の季節変化について
量研機構 田上 恵子

セッション4 (10:35 - 11:25) 座長: 田上 恵子

- O-8 福島の森林土壌における放射性セシウムの動態 10年間のモニタリングの成果と今後の課題
森林総研 眞中 卓也
- O-9 12年間の山形県放射線量調査と森林資源利用の今後の見通し
東京外大 林 剛平

集合写真撮影 (11:30-35)

昼食 (11:35 - 12:50)

セッション5 (12:50 - 13:35) 座長: 松村 宏

- O-11 ヒドロキシアパタイト中の放射線誘起炭酸ラジカルの電子スピン共鳴法による分析
東北大 山下 琢磨
- O-12 フィッシュントラック法を用いた広島原爆由来のウラン含有粒子の探索
京大複合研 東江 直樹

特別セッション(13:50 - 14:40) 座長: 高宮 幸一

三頭聰明先生を追悼するセッション

(話題提供) 京都大・五十嵐康人、大阪青山大・篠原厚 ほか

ポスターセッション - 2 (14:50 - 16:20)

・偶数番ポスターコアタイム

セッション6 (16:30 - 17:45) 座長:杉原 真司

- O-13 A review of clarified transfer mechanism of ^{137}Cs in rockfish off Fukushima
電中研 立田 穰
- O-14 六カ所再処理施設沖合海域から採取したミズダコとスルメイカ肝臓中のプルトニウム
同位体の時系列変化
海生研 山田 正俊
- O-15 ALPS 処理水海洋放出前後のトリチウム動態
福島大 高田 兵衛

懇親会 (18:10 - 19:50)

2024年3月13日(水)

セッション7 (9:00 - 9:55) 座長:吉田 剛

- O-16 ストロンチウム収着剤を用いた海水・陸水中の放射性ストロンチウムの迅速測定法
愛知医大 緒方 良至
- O-17 南相馬住民の尿検査による内部被曝調査と土壌粉塵吸入による影響
ちくりん舎 青木 一政

セッション8 (10:10 - 11:00) 座長:小池 裕也

- O-18 福島県東部における放射性セシウムの降下量及び大気濃度の推移
農研機構 藤原 英司
- O-19 短半減期ラドン壊変核種湿性沈着観測による Pb-210 沈着数値計算の検証
名大 山澤 弘実

閉会 (11:15 - 11:35)

研究会奨励賞表彰式

閉会挨拶 (高エネ研放射線科学センター・佐波俊哉センター長)

ポスター発表

奇数番ポスター コアタイム (3/11 17:00 - 18:10)

偶数番ポスター コアタイム (3/12 15:10 - 16:20)

- P-2 大気中放射性希ガス濃度の全国調査における Kr-85 管理放出の影響
日本分析セ 吉田 森香
- P-3 Behavioral Analysis of Cosmogenic Isotopes ^7Be and ^{22}Na in Surface Air and Investigating Aerosol Size Distributions and Chemical Compositions of ^7Be and ^{210}Pb throughout the year in Osaka, Japan
大阪産業大 Kosinarkaranun Kanyanan
- P-4 環境因子によりラドン土壌散逸率の変動と堆積測定法の改善に関する研究
東大院新領域創成 金 千皓
- P-5 遮蔽鉛ブロック中 Pb-210、Po-210 スクリーニング法の検討
九州環境管理協会 玉利 俊哉
- P-6 弱塩基性陰イオン交換樹脂を用いた Tc 化学分離法の検討
原子力機構 小荒井 一真
- P-7 保障措置環境試料の化学分析におけるブランクウランの起源
原子力機構 富田 純平
- P-8 Optimization of measurement conditions for heavy ions with fluorescent nuclear track detectors
量研機構 Hu Jun
- P-9 プルシアンブルーフィルターカートリッジを用いた河川水中放射性セシウム現場濃縮システムの検討
明治大理工 高橋 亘
- P-11 気候変動予測結果を用いた河川における放射性セシウム流出量予測の精緻化
福島県環創セ 前川 暁洋
- P-12 20016年から2020年における福島県浜通り河川水の ^{129}I 濃度
環境科学技研 植田 真司
- P-13 阿賀野川河口域における海底土の放射性セシウム濃度とその経年変化
新潟県放射線監視セ 鈴木 貴博
- P-14 変数係数 Time-fractional 拡散方程式による湖水中 ^{137}Cs 濃度の再現
筑波大 赤崎 健太郎
- P-15 室内実験による淡水中の枯死葉と微細有機物との Cs-137 濃度の関係：
水生昆虫の摂食過程が及ぼす影響
福島大環境放射能研 金指 努
- P-16 福島第一原発 1.5km 沖 たらちね海洋調査 ～福島の手を見守り続けた8年の記録～
いわき放射能市民測定室たらちね 木村 亜衣
- P-17 海産物の放射能測定における消化管内容物の影響
宮城県環放セ 有田 富和

- P-18 ニジマスの体内における Cs の移動モデルの作成
筑波大工 木下 悠吾
- P-19 福島県沿岸で採集された多種の魚類脊椎骨中の ^{90}Sr 濃度
国立環境研 近都 浩之
- P-20 Soil-soil solution distribution coefficients of ^{137}Cs in non-agricultural soils
量研機構 Danilov Sergei
- P-21 シイタケ原木林において樹木の放射性セシウム濃度を定める要因の再探索
東大院農 小林 奈通子
- P-22 宮城県内野生キノコ中の放射性セシウム濃度の年次変化
東北大 木野 康志
- P-23 原発事故後12年間の飯舘村放射線量調査とセシウム137汚染の今後の見通し
京大複合研 今中 哲二
- P-24 福島県土壌における ^{90}Sr の深度分布と経年変化
九大RIC 杉原 真司
- P-25 不飽和脂肪酸固化処理した都市ごみ焼却飛灰の放射性セシウム溶出試験
明治大院 伊藤 秀嶺
- P-26 福島第一原発事故後に形成されたヒト乳菌における放射線量の検討
東北大病院 高橋 温
- P-27 歯中炭酸ラジカル測定による低線量の被ばく線量推定法の開発
東北大 岩見 聡音
- P-28 イメージングプレートによる歯中放射性核種濃度の再構成シミュレーション
東北大理 尾田 晃平
- P-29 Tritium, Hydrogen and Oxygen Isotope Compositions in Rainwater Samples Collected in Thailand
大阪産業大 Pitakchaianan Chonlada
- P-30 Transportation of neutrons inside concrete walls at the J-PARC Main-Ring Synchrotron
総研大 Bui Ngoc Thien
- P-31 福島第一原発事故で被災したニホンザル筋肉中の放射性セシウムの比放射能分析
東北大理 小菅 楽
- P-32 広島・長崎の「黒い雨」領域推定のための基礎的研究
京大複合研 五十嵐 康人